

算 数

(5) 算数

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象を数理的に捉え、算数の問題を見いだす学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <p>(2) 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を通して合理的、論理的に考えを進めるなど、互いの知的なコミュニケーションを図るための工夫</p> <p>(3) ・数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするなどのため、必要な場面においてコンピュータなどを適切に活用するための工夫 ・児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を実施する工夫</p> <p>(4) 問題を解決するために既習の何を用いてどのように表したり処理したりする必要があるのかについて構想を立てられるようにしたり、どのような数学的な見方・考え方を働かせるとよりよく問題解決できたのかを振り返ったりするための工夫</p> <p>(5) 具体物を操作したり、日常の事象を観察したり、児童にとって身近な算数の問題を解決したりするなどの具体的な体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をしたり、算数を学ぶ意義を実感したりするための工夫</p> <p>(6) 児童が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫</p> <p>(7) 他の教科等との関連や中学校との関連を図った学習活動を充実するための工夫</p>
2 使用上の便宜	<p>(1) 内容別配当の分量</p> <p>(2) 教材・資料等の分量</p> <p>(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫 等</p>
3 その他	<p>・今日的課題への配慮</p>

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年上巻の巻頭に「学びのとびら」を設け、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、その過程を体験した上で1年間の学習に入っていけるよう工夫されている。〔例〕2～5年上 (P4～7)、6年 (P4～7) 1つの問題解決の過程に形式的に落とし込むことなく、教材に即した問題解決の過程を可視化したページ「今日の深い学び」を設け、数学的活動をとおして数学的に考える資質・能力を高められるよう工夫されている。〔例〕2年下 (P41～45) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元導入の「単元プロローグ」では、キャラクターが疑問や困っていることを言及することで、対話の中から課題を見いだすことができるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P8～9) 単元末「つないでいこう 算数の目」下段では、この単元で学習したことについて対話をとおして総括する活動を示唆することにより、対話重視の構成になるよう工夫されている。〔例〕5年上 (P15) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容と密接に関連した1450個以上のデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。また、練習問題には、正誤判定と結果の記録、ヒントや解説にアクセスできる二次元コードが配置されている。〔例〕5年下 (P76) 第4学年以上に「プログラミングを体験しよう」を設け、プラグレスでプログラミング的に思考する体験ができるよう工夫されている。〔例〕4年上 (P135) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方・考え方を介して既習と統合して考えることを促す場面では、「同じように考えると」を設け、既習を生かして考えようとする態度や自ら筋道を立てて考える力を養うことができるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P96) 各単元末において、当該単元で働かせる主たる数学的な見方・考え方を振り返るページ「つないでいこう 算数の目」を設けることで、以後の学習においても、見方・考え方を繰り返し働かせるよう工夫されている。〔例〕4年上 (P71) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」を設け、日常生活でさらに学習を深めることによって、学ぶことの楽しさや意義を実感して、進んで生活に生かそうとする態度が身につくよう工夫されている。〔例〕1年② (P105) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各巻巻末に、個の学習意欲やつまづきなど、必要に応じて自主的に取り組むことができる「ほじゅうの問題」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」等を設け、個別に対応できるよう工夫されている。〔例〕2年上 P113～127 等 <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 他教科との関連を特に意識した箇所マークを付し、教科間のつながりを意識できるよう工夫されている。〔例〕3年下 (P80) 第6学年の「算数の学習をしあげよう」で中学校で活用する思考方法や数学的表現を振り返ったり、「中学校体験入学コース」で中学校数学の内容に具体的に触れたりすることで、関心や安心感が高まるよう工夫されている。〔例〕6年 (P175)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
4 大日本	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「算数の学び方」では、学習を発展的にひろげて新しい問題を見いだすことや、日常生活から問題を見いだすことも示されている。〔例〕2～6年 (P6～9) ・キャラクターの吹き出しで「次に…を考えてみたいな」と示したり、「ふりかえろう」のコーナーで「今日学習した考え方を使って……も考えてみたいです」と示したりすることで、新しい課題を発見・解決する態度を育成するよう工夫されている。〔例〕3年 (P123、P160) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「算数の学び方」において、対話的な学びの方法や、話し方・聞き方のポイントを示すことで、授業における言語活動を促すよう工夫されている。〔例〕2～6年 (P6～9) ・数量や図形に対する感覚を豊かにするため、実際に形を構成したり、観察したりする活動を充実させている。特に、しきつめ活動等においては、巻末に付録を設け、授業において活動ができるよう工夫されている。〔例〕2年 (P134) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツを全学年で1400個以上用意し、ページ番号横に二次元コードを設け、簡単にアクセスできるよう工夫されている。〔例〕2年 (P18) ・プログラミングにふれる活動を行うため「プログラミングに挑戦」を全学年に設け、第2学年以降はプラグレスプログラミングの教材と、ビジュアルプログラミングの教材の両方が設けられている。〔例〕5年 (P94～95、P212～213) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」として示し、特に「ひらめきアイテム」として設定した見方・考え方は、学習の中で発見したアイテム(見方・考え方)を巻頭のシートに記録し、以降の学習で活用できるよう工夫されている。〔例〕2～6年 (P10～15) ・単元末の「たしかめ問題」では、単元で使いたい見方・考え方を問う問題「見方・考え方をたしかめよう」を設け、単元で大切な数学的な見方・考え方を確かめられるよう工夫されている。〔例〕2年 (P135) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おうちで算数」や「ふくろう先生」のなるほど算数教室」などをおして、算数への興味・関心を高めたり、算数が日常生活で生かされていることを実感したりすることができるよう工夫されている。〔例〕3年 (P31、P212) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> マークの適用問題では、水色の印で問題のタイプ分けを提示するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設け、習熟度別指導などで柔軟に取り扱うことができるよう工夫されている。〔例〕2年 (P43、P230～242) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科に関連した活動・題材や統計資料を適宜扱うとともに、関連している教科が「リンクマーク」で示されている。〔例〕2年 (P96) ・第5、6学年では、中学校の学習と関連するところにリンクマークを付けるとともに、巻末に「中学校の数学ではこんなことを学ぶよ」を設け、中学校数学への関心をもつことができるよう工夫されている。〔例〕5年 (P33、P286)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
11 学図	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数で見つきたい！考え方モンスター」を折込形式で設け、見方・考え方を具体的な例を示しながら解説し、意識して使えるよう工夫されている。また、第6学年別冊「中学へのかけ橋」では、考え方モンスターごとに6年間の学習がまとめられている。〔例〕2～6年上（P9） ・学習の「めあて」を、児童が課題について考えたり話し合ったりする中から出てくるよう、「知りたいな」、「調べたいな」等のガイドを示すよう工夫されている。〔例〕3年上（P27） <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考えを読み取ったり、その考えを適用して自分の言葉でまとめたりする等、普段の授業でコミュニケーションを意識しながら学習できるよう工夫されている。〔例〕4年上（P127） ・どの方法がよいか、どの方法が自分に合っているか等を話し合うこととおして、判断力を育みながら授業ができるよう工夫されている。〔例〕2年下（P41） <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で610個のデジタルコンテンツを掲載し、どのようなコンテンツがあるかがわかるよう「動画」「操作」「ふりかえり」「問題」「資料」のマークを付けた二次元コードが配置されている。〔例〕2年上（P21） ・全学年に「プログラミングのプ」のページを設けるとともに、第1学年と第3学年の課題には切り取って使える付録を用意し、コンピュータを使わなくても体験できるよう工夫されている。〔例〕1年下（P80～81） 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しを有効活用し、既習事項を想起させ、それをもとに解決の方法を考えさせたり、予想させたりするとともに、既習の問題と対比して考える場面を取り入れることで、課題解決にむけて構想する力を育成できるよう工夫されている。〔例〕2年上（P55） ・既習事項を振り返り、学習内容を統合的に考察する場面として「ふりかえろう つなげよう」を設け、領域ごとにまとめて統合的に捉えるとともに、そこから生まれる新たな疑問が次の学習へのきっかけとなるよう工夫されている。〔例〕5年上（P74～75） <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の事象への知識や技能の活用を図ったり、現代的な課題に算数を用いて考えたりするために、各学年3回ずつそれまでに学習した内容を使って問題を解決する「算数をつかって」が設けられている。〔例〕2年下（P58～59） <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻末に基礎・基本を習熟するための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「ふかめよう」を掲載することで、個々の習熟の状況に対応し、自ら学習を進めていけるよう工夫されている。〔例〕2年上（P151～161） <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科の統計資料や国語科の表現活動、保健体育科の安全教育等、他教科との関連が図られている。〔例〕3年上（P76～77） ・第6学年別冊「中学へのかけ橋」の「算数で見つけた見方・考え方」では、小学校算数の6年間で学んだことを「見方・考え方」をもとに総まとめし、中学校数学の学習でも活用できるよう工夫されている。〔例〕6年別冊（P2～25）

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年をとおした基本展開として、児童の「はてな？」から学習めあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして「?? (学びを深める問い)」で焦点化し、見方・考え方を「なるほど!」でまとめ、さらに、新たな問い「だったら!？」へとつなげて学びを深めていくよう構成されている。〔例〕2～6年上 (P2～3) ・単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P18) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図を用いた考えを式で説明したり、式を用いた考えを図で説明したりする等、表現を相互に関連させながら、言語活動をとおして数学的に考えたり表現したりする力が育成できるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P20) ・巻頭の「算数で使いたい見方・考え方」では、児童の言葉で表現し、以降の学び合いの場面でもそれらの言葉を使って学び合えるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P4～5) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動的な表現によって理解を深めたり、反復練習によって習熟を図ったり、思考・表現の活動に焦点化できるようにしたりするなど、ICTの特性を生かしたデジタルコンテンツにアクセスするための二次元コードが配置されている。〔例〕2年上 (P120) ・全学年において、プログラミング教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れ、プログラミング的思考や、情報活用能力が育成できるよう工夫されている。〔例〕1年 (P187) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に学習の系統を示し、他単元とのつながりがわかるようになっている。また、既習事項の一覧を巻末「学びのマップ」に掲載し、関連する単元からリンクすることで、内容の関連性を意識して学習を進められるよう工夫されている。〔例〕2～6年 (P1)、5年 (P300) ・各時間の学習のあとに、「たしかめ」の問題を設け、学級で練り上げた解決方法を自分の力で再現できるかを、児童一人一人が確認することができるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P21) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの活用問題として「学んだことを使おう」を設け、身の回りから算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりすることで、算数を実生活に活用するよさが感じられるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P58) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じた学習に使える練習問題「ステップアップ算数」を設け、毎時の学習からリンクし、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」のレベル別の問題で構成し、児童一人一人の学力を伸ばせるよう工夫されている。〔例〕2年上 (P135～142) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的に取り組める教材を題材として掲載することで、他教科との関連を図るよう工夫されている。〔例〕3年上 (P26) ・第6学年の最後には「算数のまとめ」を設け、算数の総まとめをして自信をつけるとともに、中学校数学につながる教材にも触れることができるよう工夫されている。〔例〕6年 (P214～245)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
61 啓林館	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の上巻巻頭に「算数の学習の進め方」のページを設け、自ら課題を見つけ、その課題について協働的に解決する学習の進め方を示す等、数学的活動をとおして協働的に学習を進めることができるよう工夫されている。〔例〕2～5年上(P4～7)、6年(P4～7) 「学びを深めよう」で、問題解決の際に有効な考え方や図・表などのかき方を系統的に示すことで、筋道立てて論理的に考える力を伸ばすよう工夫されている。〔例〕2年上(P64～67) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見方・考え方を深めよう」の単元を設け、問題解決の過程で、図や表や式に表して考えたり伝え合ったりする力をつけられるよう工夫されている。〔例〕2年上(P64～67) 各学年の上巻巻頭の「算数で使うことば」では、「はじめに」「次に」「だから」等の言葉を紹介し、言語活動において数学に関わる論理的な表現力育成に向けて工夫されている。〔例〕2年上(P6) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒントと答えが確認できる練習問題や、「よくあるまちがい」を確認できるコンテンツ、全ての主課題の解説動画等のデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。〔例〕2年上(P19) 全学年に「わくわくプログラミング」を設け、楽しみながらプログラミングを体験し、プログラミング的思考や論理的思考力を身につけられるよう工夫されている。〔例〕1年(P94～95) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての課題(本時の問題)に「めあて」と「まとめ」を設け、「めあて」につながる児童の問いや気づきを「めばえ」として提示することで、課題発見の過程を大切にしよう工夫されている。〔例〕2年上(P56) 各単元末の「学びのまとめ」は、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の3段階で構成し、「たしかめよう」と「ふりかえろう」で、単元で学習したことを振り返るとともに、「やってみよう」では、それらを生活や学習に活用する活動例が示されている。〔例〕2年上(P16～17) <p>●着眼点(5)について</p> <p>「算数ポケット」では、算数と関連した身近な話題や、学習したことから発展させて考えられる題材が取り上げられている。また、「学びをいかそう」では、学習したことを生活に生かして、算数の有用性を実感できるよう工夫されている。〔例〕1年(P58、P69)</p> <p>●着眼点(6)について</p> <p>全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート(じゅんび・もっと練習・学びをつなげよう)」の2部構成とし、一人一人の習熟に応じた学びに対応できるよう工夫されている。</p> <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会科の統計資料や、理科のグラフ、家庭科の調理等、他教科との関連が図られている。〔例〕3年(P59) 第6学年「6年のまとめ」では、小学校で学習した内容を振り返るとともに、中学校数学での学習事項との関連について紹介することで、算数の学習が中学校の学習に結びついていることを実感できるよう工夫されている。〔例〕6年(P208～229)

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
116 日文	<p>●着眼点(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の上巻巻頭の「学び方の4ステップ」と巻末の「学び方ガイド」に学習の仕方がまとめられ、それを確認することで、いつでも数学的活動をとおして協働的に学習ができるよう工夫されている。〔例〕2～4年上(P3)、5～6年(P3)、2年上(P164) ・各時間に働かせる数学的な見方・考え方を「見方・考え方」として示し、巻末に「算数で使いたい見方・考え方」としてまとめることで、見方・考え方を意識できるよう工夫されている。〔例〕2年上(P13、P163) <p>●着眼点(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「見方・考え方をみがこう」では各単元の内容について、また学年末の「算数ジャンプ」では複数の単元や領域を結びつけた内容について、理由や方法等を説明させる記述式の問題が扱われている。〔例〕2年上(P29) ・「算数ノートをつくろう」には、結果だけでなく、考えた過程を言葉、数、式、図等を使って説明できるように、書き方の事例が掲載されている。〔例〕2年上(P6～7) <p>●着眼点(3)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションやアニメーション、練習問題等のデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。〔例〕2年上(P15) ・全学年の下巻巻末にプログラミング的思考を扱う「レッツプログラミング」ページを設け、プログラミングと日常生活を結びつけて取り組めるよう工夫されている。〔例〕2年下(P104～105) 	<p>●着眼点(4)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の始まる「単元アプローチ」では、児童の身近な生活場面や算数の既習事項について話し合うことから学習を始め、その単元で学ぶ内容への興味や見通しをもち、単元全体の課題を捉えられるよう工夫されている。〔例〕2年上(P18) ・単元末の「〇〇の学習をふり返ろう。」では、キャラクターの吹き出しによって、毎時間の振り返りに加え、単元全体の知識・技能、思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度に関する振り返りを促すよう工夫されている。〔例〕2年上(P30) <p>●着眼点(5)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入や展開、まとめ等で、教室内外で取り組むことができる作業的・体験的な数学的活動を積極的に取り入れ、実際に活動に取り組むことで、活動の楽しさや数学のよさを感じられるよう工夫されている。〔例〕1年②(P31) <p>●着眼点(6)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「算数マイトライ」は、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3部構成で、児童の習熟度に応じた取り扱いができるよう工夫されている。また、自己評価できるように解答例も設けられている。〔例〕2年上(P129～153) <p>●着眼点(7)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数ジャンプ」では、理科や図画工作科等の他教科およびSDGsや環境問題との関連等、実生活と算数をつなぐ総合的な問題が設けられている。〔例〕3年下(P112～113) ・中学校数学に関連する内容に「中学接続マーク」を付けるとともに、第6学年に「もうすぐ中学生」を設け、中学校で学習する内容を紹介し、中学校数学への関心が高まるよう工夫されている。〔例〕6年(P29、P243～250)

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	(1) 内容別配当の分量										(2) 教材・資料等の分量						
		A 数と計算	B 図形	C 測定 変化と関係	D データの活用	まとめの問題	特設・ 選択教材等	目次・ 解答等	巻末 折り込み	その他 (表紙・ 奥付等)	身の 回りの 数学的 活動例の 数	発展的 な学習 の問題の 数	対話的 な活動 を示した 例の数	環境・ 防災・ 人権等 社会問 題に関 する教 材の数	二次元 コード に関す るもの の数	文献・ 読み物 資料の 数	三重県 に関わ る記述 等	
2 東書	1①	42	40	0	0	0	0	0	1	0	1	20	0	1	0	7	0	0
	1②	132	91	10	13	4	8	1	2	2	1	64	0	16	0	25	0	0
	2上	134	60	13	27	4	8	7	9	4	2	42	5	9	0	62	1	0
	2下	118	76	6	8	0	7	9	6	4	2	33	2	7	0	58	2	0
	3上	152	85	1	16	14	9	13	6	6	2	46	5	8	2	82	4	0
	3下	128	52	27	13	0	4	15	9	6	2	34	4	2	4	73	3	0
	4上	156	85	17	0	18	11	14	6	2	3	42	3	12	11	83	8	0
	4下	152	47	36	25	0	12	19	5	6	2	22	7	5	8	84	5	0
	5上	150	62	38	7	0	13	17	6	4	3	31	5	3	2	84	5	0
	5下	146	16	44	37	19	14	8	6	0	2	33	2	5	11	89	7	0
6	270	44	54	39	33	36	48	9	4	3	42	13	18	10	123	11	0	
4 大日本	1①	42	37	0	0	0	0	0	2	0	3	20	0	9	0	8	0	0
	1②	142	98	10	17	0	4	6	2	4	1	74	0	19	8	84	2	0
	2	252	128	17	40	7	23	26	2	8	1	75	0	28	2	140	6	0
	3	272	144	25	29	19	18	25	2	8	2	85	15	29	5	161	13	0
	4	296	133	69	9	20	22	32	2	8	1	69	11	22	4	161	15	0
	5	294	76	89	40	25	26	29	2	6	1	67	15	23	11	182	27	0
	6	274	54	53	36	34	32	60	2	2	1	48	10	26	15	155	30	0

項目	総ページ	(1) 内容別配当の分量										(2) 教材・資料等の分量						
		A 数と計算	B 図形	C 測定 変化と関係	D データの活用	まとめの問題	特設・選択教材等	目次・解答等	巻末折り込み	その他(表紙・奥付等)	身の回りの数学的活動例の数	発展的な学習の問題の数	対話的な活動を示した例の数	環境・防災・人権等 社会問題に関する教材の数	二次元コードに関するもの数	文献・読み物資料の数	三重県に関わる記述等	
11 学図	1上	102	78	0	2	2	10	4	3	2	1	32	2	3	0	35	1	0
	1下	108	43	8	13	2	17	15	3	6	1	36	2	11	0	33	3	0
	2上	168	64	14	31	8	26	16	5	2	2	75	2	8	1	63	7	0
	2下	144	68	9	10	3	30	15	5	2	2	34	3	6	0	50	4	0
	3上	152	54	16	20	12	21	20	5	2	2	41	3	12	1	50	4	0
	3下	174	83	18	14	4	24	17	4	8	2	49	2	9	3	53	3	0
	4上	162	73	42	3	9	10	14	5	4	2	34	4	10	6	48	7	0
	4下	184	84	40	10	6	16	15	5	6	2	46	3	12	7	40	5	0
	5上	178	62	29	36	12	11	17	5	4	2	38	3	11	1	46	2	0
	5下	182	56	46	25	12	14	14	5	8	2	36	1	9	5	48	13	0
	6	262	67	62	36	35	20	29	7	4	2	54	4	14	9	60	13	0
	6 中学校への のかけ橋	50	0	0	0	0	45	3	1	0	1	0	9	5	0	0	0	0
17 教出	1	190	138	14	21	4	4	6	1	0	2	59	7	17	1	5	6	0
	2上	156	71	16	32	0	10	18	5	2	2	40	5	16	0	49	15	0
	2下	130	78	6	7	2	13	13	6	4	1	34	11	9	0	30	8	0
	3上	162	74	14	37	0	10	19	7	0	1	37	4	15	3	62	15	0
	3下	148	56	14	31	0	17	20	7	2	1	31	4	10	0	47	21	0
	4上	180	73	38	0	16	14	28	8	2	1	36	5	12	5	89	20	0
	4下	178	45	16	42	12	22	33	7	0	1	34	6	11	2	65	25	0
	5	314	55	87	65	23	30	40	9	4	1	61	10	22	7	116	5	0
	6	292	53	61	36	30	45	55	9	2	1	38	17	14	6	88	58	0

項目 発行者の 番号・略称	総 ページ	(1) 内容別配当の分量										(2) 教材・資料等の分量						
		A 数と計算	B 図形	C 測定 変化と関係	D データの活用	ま と め の 問 題	特 設 ・ 選 択 教 材 等	目 次 ・ 解 答 等	巻 末 折 り 込 み	そ の 他 (表 紙 ・ 奥 付 等)	身 の 回 り の 数 学 的 活 動 例 の 数	発 展 的 な 学 習 の 問 題 の 数	対 話 的 な 活 動 を 示 し た 例 の 数	環 境 ・ 防 災 ・ 人 権 等 社 会 問 題 に 関 す る 教 材 の 数	二 次 元 コ ー ド に 関 す る も の の 数	文 献 ・ 読 み 物 資 料 の 数	三 重 県 に 関 わ る 記 述 等	
61 啓林館	1 すたあと ぶっく	50	38	9	0	0	0	0	2	0	1	23	0	8	0	19	0	0
	1	146	92	5	15	2	19	9	2	0	2	80	9	4	0	66	6	0
	2上	138	66	0	29	8	12	15	4	2	2	41	12	5	0	76	1	0
	2下	138	71	25	8	0	17	7	4	4	2	30	9	2	0	61	3	0
	3上	150	71	0	26	16	13	13	5	4	2	47	12	9	3	80	10	0
	3下	132	65	23	0	0	19	16	5	2	2	27	7	4	1	64	7	0
	4上	164	71	35	0	13	20	14	5	4	2	33	9	6	2	74	12	0
	4下	134	44	30	8	10	21	14	6	0	1	32	10	4	2	67	6	0
	5	284	68	75	56	9	32	34	6	2	2	74	27	10	15	133	21	1
	6	274	44	56	42	32	38	49	9	2	2	53	29	5	7	98	20	0
116 日文	1①	48	46	0	0	0	0	0	1	0	1	22	0	11	0	7	0	0
	1②	150	100	10	16	6	5	6	2	4	1	67	0	6	0	71	2	0
	2上	166	58	16	34	6	28	11	6	6	1	31	15	3	0	82	1	0
	2下	142	77	9	8	0	28	9	6	4	1	23	14	0	0	75	2	0
	3上	174	70	14	19	20	23	15	6	6	1	46	19	7	2	93	7	0
	3下	150	70	16	14	0	22	13	10	4	1	36	11	3	0	94	4	0
	4上	172	88	12	0	20	19	13	15	4	1	39	19	3	6	88	4	0
	4下	174	51	57	11	0	16	28	5	4	2	34	22	6	0	88	3	0
	5	330	79	103	25	38	25	41	8	10	1	67	32	7	6	164	15	0
	6	300	46	56	38	38	59	49	9	4	1	55	30	6	5	119	25	0

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・B5版を基本とするが、1年①はA4版の中綴じとしたため、教材のブロックを置くことができる等、数学的活動に取り組むことができるよう配慮されている。 ・使用する色数を減らす、淡い配色を基本とする、記号の形を基本図形に寄せたシンプルなものにする等、視認性に配慮されている。 ・表紙は、フィルム貼りを施し、汚損しにくいように加工されている。また、裏表紙の氏名記入欄は、コーティングの上にさらにインキをのせて鉛筆でも書けるよう配慮されている。 ・軽量で丈夫な再生紙や、化学物質をおさえた植物油インキを使用する等、環境やシックスクールに配慮されている。
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> ・B5版を基本とするが、1年①はA4版とし中綴じとしたため、開くとフラットになるよう製本されている。また、マス目の大きさは市販のノートと同じサイズに揃えられている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、色だけでなく形状でも判別できるよう配慮されている。 ・1年②～6年の製本は、針等の使用がなく安全なあじろ綴じとし、奥までよく開くことができ、写真や図版等をきれいに見ることができるよう配慮されている。 ・表紙に抗菌・抗ウイルス機能をもつ「Lock3」を塗布し、衛生面に配慮されている。
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年AB版を採用し紙面が整理されることで、教科書上での作業について配慮されている。 ・写真、イラスト、図版の記述等すべてにおいてカラーバリアフリーとなるよう配慮されている。 ・製本は、耐久性、耐熱性に強いPUR製本を使用し、本がよく開くよう工夫されている。 ・紙は再生紙を使用し、インクには化学物質をおさえた植物油インキを使用する等、環境やシックスクールに配慮されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年B5版を採用し、軽量の紙を用いるよう配慮されている。 ・識別しやすい配色を用いるとともに、図版に色名を付記して色調以外でも区別できるよう配慮されている。 ・あじろ綴じ製本を採用し、本を開きやすくするとともに、製本は堅牢で長期の使用にも耐えられるよう配慮されている。 ・再生紙と化学物質をおさえた植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工が施されている。
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・B5版を基本とするが、1年「すたあとぶっく」はA4版とし、教材のブロックの操作がしやすいように中綴じの製本形式が採用されている。 ・色使いについては、カラーユニバーサルデザインの観点から、色だけで判断する情報は扱わないよう配慮されている。 ・開きやすく、強度が保てるあじろ綴じを採用することで、児童の取り扱いや長期間の使用に耐え得るよう配慮されている。 ・再生紙と化学物質をおさえた植物油インキを使用し、環境やシックスクールに配慮されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年B5版を採用するが、1年①はより薄くするよう配慮されている。 ・色文字は使用せず、図形やグラフに使用する色数も抑えた紙面となるよう配慮されている。 ・表紙は、耐水性や堅牢性を考慮して、従来より工夫された表面加工を施し、破損しにくいよう配慮されている。その際、印刷は植物性インキを使用し、環境やシックスクールに配慮されている。 ・5年、6年は教科担任制を見据え、スピン（しおりのひも）が付けられ、どこを学習しているのかわかるよう工夫されている。

3 その他

発行者の 番号・略称	今日的課題への配慮
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・題材として、「給食の残食」「防災・減災意識の向上」「海洋プラスチックごみの分析」等について扱われている。
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・題材として、「水の問題」「防災備蓄倉庫」「地球温暖化」等について扱われている。
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・題材として、「絶滅危惧種」「海洋プラスチックごみ」「地球温暖化」等について扱われている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・題材として、「食品ロス」「再生可能エネルギー」「節水」等について扱われている。
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・3年生以上に「わくわくSDGs」のページを設け、「食品ロス」「ごみ、リサイクル」「水害」等のテーマについて扱われている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・登場するキャラクターについて、服装や役割等、性の多様性などについて配慮されている。 ・題材として、「日本の人口ピラミッド」「一汁三菜（和食）」「水の節約」等について扱われている。